

【表5-1-1-7 職業別 同和地区に対するイメージ】

(1) 所得の低い人が多く住んでいる

(2) 親切で、人情味にあふれた人が多く住んでいる

(上段:人, 下段:%)

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	52 7.7	97 14.4	185 27.5	72 10.7	210 31.2	1 0.1	56 8.3	673 100.0
自営業	7 8.0	7 8.0	18 20.5	12 13.6	37 42.0	0 0.0	7 8.0	88 100.0
公務員、教員	1 6.7	3 20.0	5 33.3	1 6.7	5 33.3	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	10 5.4	39 21.0	50 26.9	23 12.4	56 30.1	1 0.5	7 3.8	186 100.0
非正規雇用	8 8.5	10 10.6	26 27.7	12 12.8	33 35.1	0 0.0	5 5.3	94 100.0
家事専業・学生・無職	24 9.3	34 13.2	80 31.1	22 8.6	70 27.2	0 0.0	27 10.5	257 100.0
不明・無回答	2 6.1	4 12.1	6 18.2	2 6.1	9 27.3	0 0.0	10 30.3	33 100.0

(上段:人, 下段:%)

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	25 3.7	70 10.4	360 53.5	61 9.1	96 14.3	2 0.3	59 8.8	673 100.0
自営業	4 4.5	9 10.2	46 52.3	10 11.4	11 12.5	1 1.1	7 8.0	88 100.0
公務員、教員	0 0.0	1 6.7	10 66.7	1 6.7	3 20.0	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	5 2.7	15 8.1	106 57.0	20 10.8	32 17.2	1 0.5	7 3.8	186 100.0
非正規雇用	3 3.2	14 14.9	52 55.3	8 8.5	12 12.8	0 0.0	5 5.3	94 100.0
家事専業・学生・無職	12 4.7	27 10.5	135 52.5	17 6.6	36 14.0	0 0.0	30 11.7	257 100.0
不明・無回答	1 3.0	4 12.1	11 33.3	5 15.2	2 6.1	0 0.0	10 30.3	33 100.0

(3) 同和地区外の人に対して、閉鎖的な意識を持った人が多い

(4) 地域社会(コミュニティ)の中での連帯意識を持った人が多い

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	81 12.0	175 26.0	232 34.5	47 7.0	78 11.6	2 0.3	58 8.6	673 100.0
自営業	9 10.2	19 21.6	26 29.5	11 12.5	14 15.9	1 1.1	8 9.1	88 100.0
公務員、教員	4 26.7	3 20.0	6 40.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	21 11.3	54 29.0	73 39.2	12 6.5	19 10.2	1 0.5	6 3.2	186 100.0
非正規雇用	14 14.9	27 28.7	33 35.1	6 6.4	9 9.6	0 0.0	5 5.3	94 100.0
家事専業・学生・無職	30 11.7	68 26.5	84 32.7	17 6.6	29 11.3	0 0.0	29 11.3	257 100.0
不明・無回答	3 9.1	4 12.1	10 30.3	1 3.0	5 15.2	0 0.0	10 30.3	33 100.0

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	101 15.0	184 27.3	234 34.8	30 4.5	58 8.6	3 0.4	63 9.4	673 100.0
自営業	15 17.0	19 21.6	32 36.4	4 4.5	9 10.2	1 1.1	8 9.1	88 100.0
公務員、教員	1 6.7	7 46.7	4 26.7	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	29 15.6	53 28.5	71 38.2	12 6.5	14 7.5	1 0.5	6 3.2	186 100.0
非正規雇用	16 17.0	30 31.9	35 37.2	2 2.1	6 6.4	0 0.0	5 5.3	94 100.0
家事専業・学生・無職	37 14.4	63 24.5	88 34.2	11 4.3	23 8.9	1 0.4	34 13.2	257 100.0
不明・無回答	3 9.1	4 12.1	4 12.1	1 3.0	3 9.1	0 0.0	10 30.3	33 100.0

(5) 人権問題について、意識の高い人が多い

(6) なにか問題が起こると、集団で行動することが多い

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	88 13.1	150 22.3	264 39.2	33 4.9	73 10.8	3 0.4	62 9.2	673 100.0
自営業	11 12.5	16 18.2	40 45.5	7 8.0	6 6.8	1 1.1	7 8.0	88 100.0
公務員、教員	1 6.7	5 33.3	6 40.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	39 21.0	45 24.2	65 34.9	10 5.4	18 9.7	1 0.5	8 4.3	186 100.0
非正規雇用	11 11.7	22 23.4	44 46.8	4 4.3	8 8.5	0 0.0	5 5.3	94 100.0
家事専業・学生・無職	23 8.9	53 20.6	102 39.7	9 3.5	37 14.4	1 0.4	32 12.5	257 100.0
不明・無回答	3 9.1	9 27.3	7 21.2	3 9.1	1 3.0	0 0.0	10 30.3	33 100.0

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	154 22.9	200 29.7	175 26.0	30 4.5	59 8.8	2 0.3	53 7.9	673 100.0
自営業	23 26.1	27 30.7	20 22.7	2 2.3	10 11.4	0 0.0	6 6.8	88 100.0
公務員、教員	4 26.7	5 33.3	5 33.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	47 25.3	52 28.0	61 32.8	6 3.2	13 7.0	1 0.5	6 3.2	186 100.0
非正規雇用	18 19.1	31 33.0	26 27.7	4 4.3	9 9.6	0 0.0	6 6.4	94 100.0
家事専業・学生・無職	57 22.2	76 29.6	59 23.0	14 5.4	25 9.7	1 0.4	25 9.7	257 100.0
不明・無回答	5 15.2	9 27.3	4 12.1	4 12.1	1 3.0	0 0.0	10 30.3	33 100.0

(7) 同和地区では、高齢者や障害のある人への生活支援など、同和問題以外の人権問題にも積極的な取り組みが進められている

(8) 同和問題を口実に、いわゆる「えせ同和行為」で不当な利益等を要求する人がいる

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	68 10.1	130 19.3	310 46.1	26 3.9	69 10.3	5 0.7	65 9.7	673 100.0
自営業	12 13.6	18 20.5	39 44.3	5 5.7	6 6.8	1 1.1	7 8.0	88 100.0
公務員、教員	2 13.3	4 26.7	5 33.3	0 0.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	15 8.1	34 18.3	100 53.8	10 5.4	19 10.2	1 0.5	7 3.8	186 100.0
非正規雇用	13 13.8	19 20.2	44 46.8	4 4.3	7 7.4	1 1.1	6 6.4	94 100.0
家事専業・学生・無職	25 9.7	46 17.9	113 44.0	6 2.3	32 12.5	1 0.4	34 13.2	257 100.0
不明・無回答	1 3.0	9 27.3	9 27.3	1 3.0	1 3.0	1 3.0	11 33.3	33 100.0

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	183 27.2	185 27.5	171 25.4	14 2.1	59 8.8	3 0.4	58 8.6	673 100.0
自営業	26 29.5	29 33.0	18 20.5	1 1.1	7 8.0	0 0.0	7 8.0	88 100.0
公務員、教員	4 26.7	6 40.0	4 26.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	59 31.7	57 30.6	49 26.3	2 1.1	12 6.5	1 0.5	6 3.2	186 100.0
非正規雇用	23 24.5	26 27.7	30 31.9	2 2.1	6 6.4	1 1.1	6 6.4	94 100.0
家事専業・学生・無職	64 24.9	63 24.5	64 24.9	8 3.1	28 10.9	1 0.4	29 11.3	257 100.0
不明・無回答	7 21.2	4 12.1	6 18.2	1 3.0	5 15.2	0 0.0	10 30.3	33 100.0

(9) 同和地区の人が、地域外の人との交流に力を入れている

(10) いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	21 3.1	54 8.0	367 54.5	70 10.4	92 13.7	4 0.6	65 9.7	673 100.0
自営業	5 5.7	7 8.0	50 56.8	8 9.1	11 12.5	1 1.1	6 6.8	88 100.0
公務員、教員	0 0.0	1 6.7	11 73.3	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	5 2.7	13 7.0	106 57.0	21 11.3	33 17.7	1 0.5	7 3.8	186 100.0
非正規雇用	2 2.1	13 13.8	54 57.4	11 11.7	6 6.4	1 1.1	7 7.4	94 100.0
家事専業・学生・無職	9 3.5	17 6.6	130 50.6	29 11.3	37 14.4	1 0.4	34 13.2	257 100.0
不明・無回答	0 0.0	3 9.1	16 48.5	1 3.0	2 6.1	0 0.0	11 33.3	33 100.0

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	166 24.7	195 29.0	185 27.5	20 3.0	49 7.3	3 0.4	55 8.2	673 100.0
自営業	21 23.9	35 39.8	16 18.2	2 2.3	6 6.8	1 1.1	7 8.0	88 100.0
公務員、教員	4 26.7	4 26.7	5 33.3	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	55 29.6	44 23.7	62 33.3	6 3.2	12 6.5	1 0.5	6 3.2	186 100.0
非正規雇用	21 22.3	27 28.7	26 27.7	4 4.3	11 11.7	0 0.0	5 5.3	94 100.0
家事専業・学生・無職	58 22.6	74 28.8	73 28.4	7 2.7	17 6.6	1 0.4	27 10.5	257 100.0
不明・無回答	7 21.2	11 33.3	3 9.1	1 3.0	1 3.0	0 0.0	10 30.3	33 100.0

(11) 地域の学校において、広く人権問題に関する教育に取り組んでいる

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	61 9.1	133 19.8	302 44.9	38 5.6	71 10.5	5 0.7	63 9.4	673 100.0
自営業	8 9.1	22 25.0	42 47.7	2 2.3	6 6.8	1 1.1	7 8.0	88 100.0
公務員、教員	2 13.3	3 20.0	5 33.3	2 13.3	3 20.0	0 0.0	0 0.0	15 100.0
民間正規雇用	18 9.7	34 18.3	95 51.1	15 8.1	16 8.6	1 0.5	7 3.8	186 100.0
非正規雇用	12 12.8	19 20.2	45 47.9	4 4.3	7 7.4	1 1.1	6 6.4	94 100.0
家事専業・学生・無職	18 7.0	49 19.1	106 41.2	15 5.8	35 13.6	1 0.4	33 12.8	257 100.0
不明・無回答	3 9.1	6 18.2	9 27.3	0 0.0	4 12.1	1 3.0	10 30.3	33 100.0

学歴別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では『(10)いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている』で52.7%、「高校卒」では『(6)なにか問題が起こると、集団で行動することが多い』で57.2%となっている。また、「短大卒」「大学卒」では『(8)同和問題を口実に、いわゆる「えせ同和行為」で不当な利益等を要求する人がいる』であり、数値は各々50.7%、68.8%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が最も低いのは、「中学卒」「高校卒」「短大卒」では『(9)同和地区の人が、地域外の人との交流に力を入れている』であり、数値は各々10.8%、10.5%、9.1%となっており、「大学卒」では『(2)親切で、人情味にあふれた人が多く住んでいる』で11.3%となっている。

【表5-1-1-8】

【表5-1-1-8 学歴別 同和地区に対するイメージ】

(1) 所得の低い人が多く住んでいる

(2) 親切で、人情味にあふれた人が多く住んでいる

	(上段:人,下段:%)							(上段:人,下段:%)								
	そう思う	どちらかといえば	どちらかともいえない	どちらかわからない	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計	そう思う	どちらかといえば	どちらかともいえない	どちらかわからない	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	52	97	185	72	210	1	56	673	25	70	360	61	96	2	59	673
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	7	6	24	5	35	0	16	93	7	6	46	3	16	0	15	93
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	18	35	73	24	93	0	14	257	12	28	138	27	37	0	15	257
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	7	16	38	23	48	1	11	144	3	18	75	11	22	1	14	144
4. 大学、大学院	4.9	11.1	26.4	16.0	33.3	0.7	7.6	100.0	2.1	12.5	52.1	7.6	15.3	0.7	9.7	100.0
5. その他	16	37	43	18	24	0	3	141	2	14	87	15	19	1	3	141
不明・無回答	11.3	26.2	30.5	12.8	17.0	0.0	2.1	100.0	1.4	9.9	61.7	10.6	13.5	0.7	2.1	100.0
	0	0	2	0	0	0	1	3	0	1	1	0	0	0	1	3
	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0
	4	3	5	2	10	0	11	35	1	3	13	5	2	0	11	35
	11.4	8.6	14.3	5.7	28.6	0.0	31.4	100.0	2.9	8.6	37.1	14.3	5.7	0.0	31.4	100.0

(3) 同和地区外の人に対して、閉鎖的な意識を持った人が多い

(4) 地域社会(コミュニティ)の中での連帯意識を持った人が多い

	(上段:人,下段:%)							(上段:人,下段:%)								
	そう思う	どちらかといえば	どちらかともいえない	どちらかわからない	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計	そう思う	どちらかといえば	どちらかともいえない	どちらかわからない	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	81	175	232	47	78	2	58	673	101	184	234	30	58	3	63	673
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	10	17	28	6	16	0	16	93	13	21	23	6	13	0	17	93
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	29	76	86	18	34	0	14	257	40	63	98	14	23	1	18	257
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	11.3	29.6	33.5	7.0	13.2	0.0	5.4	100.0	15.6	24.5	38.1	5.4	8.9	0.4	7.0	100.0
4. 大学、大学院	19	32	53	12	15	1	12	144	19	44	56	2	10	1	12	144
5. その他	13.2	22.2	36.8	8.3	10.4	0.7	8.3	100.0	13.2	30.6	38.9	1.4	6.9	0.7	8.3	100.0
不明・無回答	19	45	55	10	8	1	3	141	25	44	52	7	9	1	3	141
	13.5	31.9	39.0	7.1	5.7	0.7	2.1	100.0	17.7	31.2	36.9	5.0	6.4	0.7	2.1	100.0
	0	0	2	0	0	0	1	3	0	1	1	0	0	0	1	3
	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0
	4	5	8	1	5	0	12	35	4	11	4	1	3	0	12	35
	11.4	14.3	22.9	2.9	14.3	0.0	34.3	100.0	11.4	31.4	11.4	2.9	8.6	0.0	34.3	100.0

(5) 人権問題について、意識の高い人が多い

(6) なにか問題が起こると、集団で行動することが多い

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかわからない	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	88	150	264	33	73	3	62	673
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	6	19	29	5	18	0	16	93
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	32	46	116	13	31	1	18	257
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	20	35	59	6	11	1	12	144
4. 大学、大学院	27	42	50	6	12	1	3	141
5. その他	0	0	2	0	0	0	1	3
不明・無回答	3	8	8	3	1	0	12	35
	8.6	22.9	22.9	8.6	2.9	0.0	34.3	100.0

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかわからない	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	154	200	175	30	59	2	53	673
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	23	22	17	4	13	0	14	93
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	67	80	60	11	25	1	13	257
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	29	39	47	5	12	1	11	144
4. 大学、大学院	30	50	45	5	8	0	3	141
5. その他	0	0	2	0	0	0	1	3
不明・無回答	5	9	4	5	1	0	11	35
	14.3	25.7	11.4	14.3	2.9	0.0	31.4	100.0

(7) 同和地区では、高齢者や障害のある人への生活支援など、同和問題以外の人権問題にも積極的な取組みが進められている

(8) 同和問題を口実に、いわゆる「えせ同和行為」で不当な利益等を要求する人がいる

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかわからない	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	68	130	310	26	69	5	65	673
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	9	18	32	3	13	0	18	93
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	33	47	117	9	32	2	17	257
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	13	25	74	4	13	1	14	144
4. 大学、大学院	13	32	74	9	9	1	3	141
5. その他	0	0	2	0	0	0	1	3
不明・無回答	0	8	11	1	2	1	12	35
	0.0	22.9	31.4	2.9	5.7	2.9	34.3	100.0

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかわからない	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	183	185	171	14	59	3	58	673
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	18	24	15	2	17	0	17	93
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	71	72	69	3	26	2	14	257
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	40	33	48	3	7	1	12	144
4. 大学、大学院	46	51	33	4	4	0	3	141
5. その他	0	0	1	1	0	0	1	3
不明・無回答	8	5	5	1	5	0	11	35
	22.9	14.3	14.3	2.9	14.3	0.0	31.4	100.0

(9) 同和地区の人が、地域外の人との交流力を入れている

(10) いまでも行政から特別な扱いを受け、優遇されている

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかわからない	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	21	54	367	70	92	4	65	673
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	4	6	46	6	14	0	17	93
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	7	20	137	32	42	2	17	257
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	4	9	84	14	17	1	15	144
4. 大学、大学院	6	15	83	17	16	1	3	141
5. その他	0	1	1	0	0	0	1	3
不明・無回答	0	3	16	1	3	0	12	35
	0.0	8.6	45.7	2.9	8.6	0.0	34.3	100.0

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかわからない	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	166	195	185	20	49	3	55	673
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	21	28	19	0	11	0	14	93
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	71	74	73	5	20	1	13	257
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	28	38	49	7	8	1	13	144
4. 大学、大学院	38	45	40	7	7	1	3	141
5. その他	0	0	1	0	1	0	1	3
不明・無回答	8	10	3	1	2	0	11	35
	22.9	28.6	8.6	2.9	5.7	0.0	31.4	100.0

(11)地域の学校において、広く人権問題に関する教育に取り組んでいる

	そう思う	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	そう思わない	わからない	無回答・不明	該当者合計
市全体	61 9.1	133 19.8	302 44.9	38 5.6	71 10.5	5 0.7	63 9.4	673 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	8 8.6	14 15.1	32 34.4	6 6.5	16 17.2	0 0.0	17 18.3	93 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	21 8.2	51 19.8	119 46.3	14 5.4	33 12.8	2 0.8	17 6.6	257 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	10 6.9	28 19.4	72 50.0	10 6.9	9 6.3	1 0.7	14 9.7	144 100.0
4.大学、大学院	19 13.5	35 24.8	67 47.5	7 5.0	9 6.4	1 0.7	3 2.1	141 100.0
5.その他	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	3 100.0
不明・無回答	3 8.6	5 14.3	10 28.6	1 2.9	4 11.4	1 2.9	11 31.4	35 100.0

5-1-2. 同和問題に関する意識、イメージを持った理由

(1) 同和問題に関する差別意識がなくなる理由

(問 17 で同和地区や同和地区の人に対する差別意識が「現在もあまり変わらず残っている」「さらに強くなっている」「薄まりつつあるが、まだ残っている」と答えた人に)

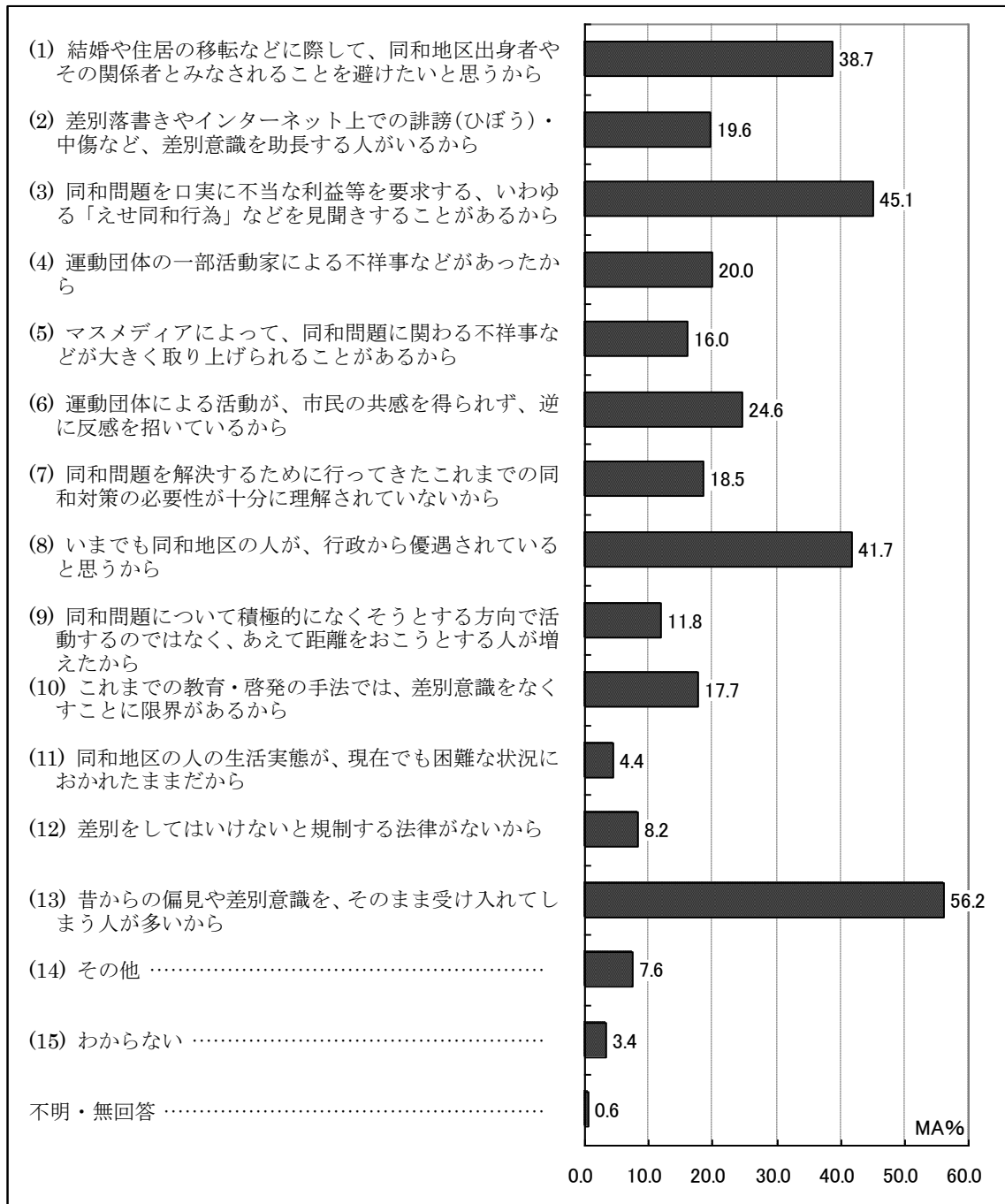
問 17-1 同和問題に関する差別意識がなくなる理由は、なぜだと思いますか。(〇はいくつでも)

【表 5-1-2-1 同和問題に関する差別意識がなくなる理由】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから	2. 差別落書きやインターネット上での誹謗(ひぼう)・中傷など、差別意識を助長する人がいるから	3. 「同和問題を口実に不当な利益等を要求する、いわゆるえせ同和行為」などを見聞きすることがあるから	4. 運動団体の一部活動家による不祥事などがあつたから	5. マスメディアによって、同和問題に関わる不祥事などが大きく取り上げられることがあるから	6. 運動団体による活動が、市民の共感を得られず、逆に反感を招いているから	7. 同和問題を解決するために行ってきたこれまでの同和对策の必要性が十分に理解されていないから	8. いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから	9. 同和問題について積極的になくそうとする方向で活動するのではなく、あえて距離をおこうとする人が増えたから	10. これまでの教育・啓発の手法では、差別意識をなくすことに限界があるから	11. 同和地区の人の生活実態が、現在でも困難な状況におかれたままだから	12. 差別をしてはいけないと規制する法律がないから	13. 昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまいう人が多いから	14. その他	15. わからない	無回答	不明	該当者数
市全体	184 38.8	93 19.6	214 45.1	95 20.0	76 16.0	117 24.7	88 18.6	198 41.8	56 11.8	84 17.7	21 4.4	39 8.2	267 56.3	36 7.6	16 3.4	3 0.6	474 100.0	

【図5-1-2-1 同和問題に関する差別意識がなくなる理由】



問 17 で同和地区や同和地区の人に対する差別意識が「現在もあまり変わらず残っている」「さらに強くなっている」「薄まりつつあるが、まだ残っている」と答えた人に対して、その理由を尋ねたところ、「13.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」と回答した割合が 56.2%と最も高く、次いで「3.同和問題を口実に不当な利益等を要求する、いわゆる「えせ同和行為」などを見聞きすることがあるから」が 45.1%、また、地対財特法が平成 14 年 3 月に失効し特別対策は終了したが、「8.いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから」が 41.7%となっている。

性別でみると、男性では「13.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が55.2%と最も高く、次いで「3.同和問題を口実に不当な利益等を要求する、いわゆる「えせ同和行為」などを見聞きすることがあるから」が54.2%、「8.いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから」が44.3%となっている。

女性では「13.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が57.8%と最も高く、次いで「1.結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから」が40.2%、「8.いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから」が38.1%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、70歳以上では「13.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」であり、数値は各々65.9%、60.6%、50.0%、60.0%、49.3%となっており、60歳代では「3.同和問題を口実に不当な利益等を要求する、いわゆる「えせ同和行為」などを見聞きすることがあるから」が58.6%となっている。

【表5-1-2-2】

【表5-1-2-2 性別・年齢別 同和問題に関する差別意識がなくなる理由】

(上段:人、下段:MA%)

		1. 結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから	2. 差別落書きやインターネット上での誹謗(ひぼう)・中傷など、差別意識を助長する人がいるから	3. 同和問題を口実に不当な利益等を要求する、いわゆる「えせ同和行為」などを見聞きすることがあるから	4. 運動団体の一部活動家による不祥事などがあつたから	5. マスメディアによって、同和問題に関わる不祥事などが大きく取り上げられることがあるから	6. 運動団体による活動が、市民の共感を得られず、逆に反感を招いているから	7. 同和問題を解決するために行ってきたこれまでの同和对策の必要性が十分に理解されていないから	8. いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから	9. 同和問題について積極的になくそうとする方向で活動するのではなく、あえて距離をおこうとする人が増えたから	10. これまでの教育・啓発の手法では、差別意識をなくすことに限界があるから	11. 同和地区の人の生活実態が、現在でも困難な状況におかれたままだから	12. 差別をしてはいけないと規制する法律がないから	13. 昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから	14. その他	15. わからない	無回答	不明	該当者数
市全体		184 38.8	93 19.6	214 45.1	95 20.0	76 16.0	117 24.7	88 18.6	198 41.8	56 11.8	84 17.7	21 4.4	39 8.2	267 56.3	36 7.6	15 3.2	3 0.6	474 100.0	
性別	男性	82 38.7	52 24.5	115 54.2	56 26.4	42 19.8	70 33.0	41 19.3	94 44.3	35 16.5	44 20.8	8 3.8	19 9.0	117 55.2	15 7.1	4 1.9	0 0.0	212 100.0	
	女性	98 40.2	39 16.0	92 37.7	35 14.3	31 12.7	43 17.6	43 17.6	93 38.1	19 7.8	38 15.6	12 4.9	19 7.8	141 57.8	21 8.6	11 4.5	2 0.8	244 100.0	
	不明・無回答	4 22.2	2 11.1	7 38.9	4 22.2	4 16.7	3 22.2	4 22.2	11 61.1	2 11.1	2 11.1	1 5.6	1 5.6	9 50.0	0 0.0	0 0.0	0 5.6	18 100.0	
年齢別	20歳代	17 41.5	16 39.0	15 36.6	4 9.8	10 24.4	6 14.6	7 17.1	12 29.3	6 14.6	6 14.6	4 9.8	4 2.4	27 65.9	5 12.2	2 4.9	0 0.0	41 100.0	
	30歳代	42 38.5	27 24.8	40 36.7	14 12.8	17 15.6	20 18.3	20 18.3	33 30.3	9 8.3	20 18.3	6 5.5	5 4.6	66 60.6	6 5.5	5 4.6	0 0.0	109 100.0	
	40歳代	30 37.5	14 17.5	37 46.3	21 26.3	10 12.5	22 27.5	11 13.8	34 42.5	7 8.8	17 21.3	4 5.0	6 7.5	40 50.0	7 8.8	4 5.0	1 1.3	80 100.0	
	50歳代	22 31.4	10 14.3	36 51.4	17 24.3	10 14.3	19 27.1	12 17.1	32 45.7	11 15.7	13 18.6	1 1.4	5 7.1	42 60.0	6 8.6	1 1.4	0 0.0	70 100.0	
	60歳代	39 44.8	18 20.7	51 58.6	19 21.8	14 16.1	28 32.2	18 20.7	47 54.0	10 11.5	14 16.1	2 2.3	11 12.6	49 56.3	7 8.0	0 0.0	0 0.0	87 100.0	
	70歳以上	30 43.5	6 8.7	28 40.6	16 23.2	12 17.4	18 26.1	16 23.2	29 42.0	11 15.9	12 17.4	3 4.3	10 14.5	34 49.3	5 7.2	3 4.3	1 1.4	69 100.0	
	不明・無回答	4 22.2	2 11.1	7 38.9	4 22.2	4 16.7	3 22.2	4 22.2	11 61.1	2 11.1	2 11.1	1 5.6	1 5.6	9 50.0	0 0.0	0 0.0	0 5.6	18 100.0	

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」では「8.いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから」で54.0%、「公務員、教員」では「1.結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから」で58.3%、「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業・学生・無職」では「13.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」であり、数値は各々57.0%、59.7%、60.5%となっている。

【表5-1-2-3】

【表5-1-2-3 職業別 同和問題に関する差別意識がなくなる理由】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者や関係者とみなされることを避けたいと思うから	2. 差別落書きやインターネット上での誹謗(ひぼう)・中傷など、差別意識を助長する人がいるから	3. 同和問題を口実に不当な利益等を要求する、いわゆる「えせ同和行為」などを見聞きすることがあるから	4. 運動団体の一部活動家による不祥事などがあつたから	5. マスメディアによって、同和問題に関わる不祥事などが大きく取り上げられることがあるから	6. 運動団体による活動が、市民の共感を得られず、逆に反感を招いているから	7. 同和問題を解決するために行ってきたこれまでの同和对策の必要性が十分に理解されていないから	8. いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから	9. 同和問題について積極的になくそうとする方向で活動するのではなく、あえて距離をおこうとする人が増えたから	10. これまでの教育・啓発の手法では、差別意識をなくすことに限界があるから	11. 同和地区の人の生活実態が、現在でも困難な状況におかれたままだから	12. 差別をしてはいけないと規制する法律がないから	13. 昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから	14. その他	15. わからない	無回答・不明	該当者数
市全体	184 38.7	93 19.6	214 45.1	95 20.0	76 16.0	117 24.6	88 18.5	198 41.7	56 11.8	84 17.7	21 4.4	39 8.2	267 56.2	36 7.6	16 3.4	3 0.6	475 100.0
自営業	31 49.2	6 9.5	31 49.2	12 19.0	5 7.9	16 25.4	11 17.5	34 54.0	4 6.3	10 15.9	1 1.6	3 4.8	28 44.4	2 3.2	2 3.2	0 0.0	63 100.0
公務員、教員	7 58.3	2 16.7	4 33.3	2 16.7	2 16.7	5 41.7	4 33.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0	5 41.7	2 16.7	0 0.0	0 0.0	12 100.0
民間正規雇用	57 38.3	34 22.8	75 50.3	36 24.2	23 15.4	36 24.2	26 17.4	58 38.9	19 12.8	31 20.8	8 5.4	8 5.4	85 57.0	14 9.4	7 4.7	0 0.0	149 100.0
非正規雇用	21 31.3	22 32.8	24 35.8	14 20.9	14 20.9	15 22.4	12 17.9	30 44.8	6 9.0	15 22.4	4 6.0	4 6.0	40 59.7	5 7.5	3 4.5	0 0.0	67 100.0
家事専業・学生・無職	64 38.3	27 16.2	73 43.7	27 16.2	29 17.4	41 24.6	31 18.6	64 38.3	24 14.4	26 15.6	6 3.6	23 13.8	101 60.5	13 7.8	3 1.8	2 1.2	167 100.0
不明・無回答	4 23.5	2 11.8	7 41.2	4 23.5	3 17.6	4 23.5	4 23.5	10 58.8	2 11.8	2 11.8	1 5.9	1 5.9	8 47.1	0 0.0	1 5.9	1 5.9	17 100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」「高校卒」「短大卒」では「13.昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」であり、数値は各々53.7%、59.1%、54.8%となっており、「大学卒」では「3.同和問題を口実に不当な利益等を要求する、いわゆる「えせ同和行為」などを見聞きすることがあるから」で56.6%となっている。

【表5-1-2-4】

【表5-1-2-4 学歴別 同和問題に関する差別意識がなくなる理由】

(上段:人、下段:MA%)

	1. 結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから	2. 差別落書きやインターネット上での誹謗(ひぼう)・中傷など、差別意識を助長する人がいるから	3. 同和問題を口実に不当な利益等を要求するがあるから	4. 運動団体の一部活動家による不祥事などがあつたから	5. マスメディアによって、同和問題に関わる不祥事などが大きく取り上げられることがあるから	6. 逆に反感を招いているから	7. 運動団体による活動が、市民の共感を得られず、同和对策の必要性が十分に理解されていないから	8. 同和問題を解決するために行ってきたこれまでの同和对策の必要性が十分に理解されていないから	9. 同和問題について積極的になくそうとする方向で活動するのではなく、あえて距離をおこうとする人が増えたから	10. いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると	11. 同和問題について、行政から優遇されていると	12. 同和問題について、行政から優遇されていると	13. 同和問題について、行政から優遇されていると	14. 同和問題について、行政から優遇されていると	15. 同和問題について、行政から優遇されていると	無回答・不明	該当者数
市全体	184	93	214	95	76	117	88	198	56	84	21	39	267	36	15	3	474
	38.8	19.6	45.1	20.0	16.0	24.7	18.6	41.8	11.8	17.7	4.4	8.2	56.3	7.6	3.2	0.6	100.0
1. 中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	24	6	22	10	10	14	13	23	7	6	4	10	29	6	2	0	54
	44.4	11.1	40.7	18.5	18.5	25.9	24.1	42.6	13.0	11.1	7.4	18.5	53.7	11.1	3.7	0.0	100.0
2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	65	43	78	38	34	51	30	88	20	31	4	13	107	13	3	1	181
	35.9	23.8	43.1	21.0	18.8	28.2	16.6	48.6	11.0	17.1	2.2	7.2	59.1	7.2	1.7	0.6	100.0
3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	36	19	42	19	9	21	18	34	9	21	8	7	57	10	6	1	104
	34.6	18.3	40.4	18.3	8.7	20.2	17.3	32.7	8.7	20.2	7.7	6.7	54.8	9.6	5.8	1.0	100.0
4. 大学、大学院	52	23	64	23	20	27	22	41	16	21	4	5	61	6	3	0	113
	46.0	20.4	56.6	20.4	17.7	23.9	19.5	36.3	14.2	18.6	3.5	4.4	54.0	5.3	2.7	0.0	100.0
5. その他	2	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	2	2	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
不明・無回答	5	2	8	4	3	4	4	12	3	3	1	2	11	1	1	1	20
	25.0	10.0	40.0	20.0	15.0	20.0	20.0	60.0	15.0	15.0	5.0	10.0	55.0	5.0	5.0	5.0	100.0